

# 第2回名古屋市立東部医療センター市民フォーラム 開催報告

平成22年10月9日(土)午後1時から約3時間、中区役所ホールにおいて市民フォーラムを開催しました。今回のフォーラムは、市立東部医療センター東市民病院の外科・泌尿器科・産婦人科医師による腹腔鏡手術の紹介、藤田保健衛生大学宇山教授による「ロボット手術」の紹介、タレントの清水国明さんによる講演の三部構成で開催しました。当日は、あいにくの雨天でしたが、約400人の方に参加いただき、会場はほぼ満席。参加された方からは、「最先端の医療知識を得られて勉強になった」などの感想がたくさん寄せられました。



東市民病院では、心臓血管センター、脳血管センターに加え、「体にやさしい腹腔鏡手術」にも力を入れています。

開会あいさつ  
東部医療センター長 佐藤孝一



中区役所ホールの様子 約400人の方が参加され、ほぼ満席

## 一部 東市民病院医師による「腹腔鏡手術」の紹介



第一外科部長 谷脇 聡

最初に、「腹腔鏡手術とは？」を、絵で分かりやすく解説。開腹手術との違いや利点・欠点がよく分かったと好評でした。また、大腸癌の腹腔鏡下手術の様子を画像で解説。生々しい画像に会場内は一瞬静まりましたが、「普段見ることのない画像を見られて勉強になった」という感想を多数いただきました。



泌尿器科副部長 永田 大介

現在では、泌尿器科領域の主な手術療法のほとんどが腹腔鏡下で可能ですが、それができる医師は多くなく、日本泌尿器科学会の技術認定を受けている医師は、永田医師を含め市内に9人だけ。また、前立腺全摘術を実施しているのは県下で4病院だけです。若いけれど経験豊富なことが紹介されました。



第一産婦人科部長 村上 勇

腹腔鏡下で行う子宮筋腫・卵巣腫瘍・子宮外妊娠の手術や不妊症の検査方法を画像で解説。大きな筋腫をリンゴの皮を剥くようにそぎ取る様子も紹介。日本産科婦人科内視鏡学会から技術認定を受けている医師は村上医師を含め市内で4人だけ。技術向上のトレーニング法も紹介しました。

## 総合司会



副院長 田中宏紀

## 二部 最先端医療 ロボット手術

藤田保健衛生大学医学部外科学講座(消化器外科・上部消化管担当)  
主任教授 宇山一郎 先生

宇山一郎主任教授は、上部消化管の腹腔鏡手術における日本のオピニオンリーダーであり、王貞治氏の執刀医としても知られています。当日は、日本における最先端医療である(米国ではすでに最先端ではない)ロボット手術の利点・欠点や、次世代ロボットの紹介してくださいました。手の震えが伝わらない、三次元で画像が見られるなど利点が多く、参加者からは、「早く保険適用になって欲しい」などの感想をいただきました。



## 三部 我が後半人生、最高の生き方

タレント 清水国明 さん



十二指腸がんを全摘出した体験のほか、趣味を持ち、遊び、楽しみ、仲間とつながることこそ後半人生の財産だと語られました。楽しい清水さんの語り口調に、会場内は笑いに溢れ、大盛況でした。